

地域包括ケアシステム構築の充実

実績については断りがない場合は令和元年9月末までの実績

【】括弧内は、年間計画に対する実績値の進捗率

1 生きがいづくりの支援

高齢者が担い手として役割を發揮できるしくみづくり

目指す成果

高齢者自身が、社会参加や社会的役割を持ち、様々な担い手として地域で活動している。

事業実績

- ア シルバー人材センター 実就労者数：1,063人 延べ就労者数：84,399人【45.7%】
- イ シニア人材バンク登録者数：74名【92.5%】
実ボランティア数：167名 延べボランティア数：316名
- ウ 老人クラブ会員数：11,449人【93.8%】 延べ活動会員数：8,778名
- エ ふれあい給食 延べ参加者数：1,281人【32.5%】(8月末現在)
- オ にこにこ入浴デー 実施回数 966回 延べ利用者数 145,752人【49.6%】
- カ 元気高齢者施設 延べ利用者数 162,446人(3館合計)

ア 公益社団法人シルバー人材センターの家事援助サービスの受注は、受託件数740件、受託金額4,934,554円

労働者派遣事業(H29年度開始)は、配送業務を中心に、受託件数6件、受託金額2,461,408円となっている。

イ シニア人材バンクにおける社会貢献活動などを通じ、高齢者が生きがいを感じている。毎月行っている活動も10件あり、継続実施することで、より深い関係の形成に役立っている。また、活動内容の中には、高齢者同士だけでなく子供や若い方と関わる活動もあり、双方により良い影響を与え合うことができている。

ウ 老人クラブでの様々な活動では、高齢者の健康増進や生きがいづくりに寄与するだけでなく、他者とのつながりをもつことにより新たな自分の居場所ができ、充実感や心の安らぎを得ることができる。

また、小・中学校を対象とした平和のかたりべ事業・児童との交流事業(昔遊びの伝承)では、高齢者の過去の経験を次世代に語り継ぐための役割を担っている。



イ シニア人材バンクの活動



ウ 輪投げ大会

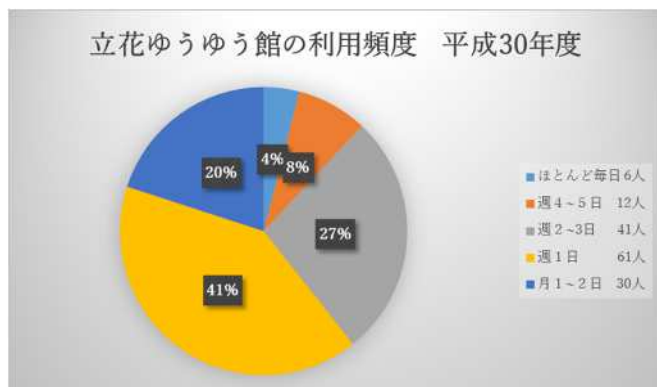


ウ 平和のかたりべ事業

エ 日ごろ交流の少ない地域の高齢者と保育園児が給食等を通してふれあうことで、保育園児の豊かな人間性の育成や高齢者の孤独感の解消と地域社会との交流や生きがいづくりに寄与している。

オ 平成29年7月から、毎週木・金のいずれか1日に入浴できる週2日制を導入した。従前の金曜日だけに比べ利用者数が増加し、ますます交流の機会の創出につながっている。

カ 元気高齢者施設の事業である、パソコン教室、健康麻雀教室、盆踊り等では、施設の利用者でもある、ボランティア講師が活躍している。また、立花ゆうゆう館の調査では、利用者の8割が週に1回以上施設を利用しており、施設に来て仲間たちと時間を共有することを生きがいとしていることがわかる。



盆踊り



パソコン教室

2 介護予防・重度化防止の推進

介護予防の推進・重度化防止の推進

目指す成果

高齢者が介護予防の必要性に気づき、日常生活の中で自ら介護予防に取り組み続けている。

事業実績

- ア 介護予防普及啓発事業 15事業 延べ参加者数 3,376名 (8月末現在)
- イ 地域介護予防活動支援事業
 - (ア) 通いの場支援事業 申請6団体 延べ36回
 - (イ) 講師派遣制度 申請1団体 延べ0回
 - (ウ) 介護予防サポーター養成講座(説明会含む) 2回開催 延べ参加者数24名
 - (エ) 介護予防サポーター研修会 2回開催 参加者数121名 (10月末現在)



イ(ア) 介護予防自主グループ交流会



イ(エ) 介護予防サポーター研修会

3 生活支援サービスの充実

生活支援サービスの整備、充実

日常生活上の多様なニーズへの対応

生活支援サービスの充実に向けた担い手の発掘・育成

ア 生活支援体制の整備

目指す成果

情報を集約しホームページや介護事業者も閲覧できるサイトの活用を通し、地域ニーズと資源の見える化が進んでいる。

既存事業の活用を含め、サービス開発を図り、新たな住民主体のサービスを創設することができる。

地縁組織等多様な団体等への協力体制が築かれている。

事業実績

(ア) 生活支援コーディネーターの設置（平成 27 年度から）

第 1 層生活支援コーディネーター（墨田区社会福祉協議会）1 名

第 2 層生活支援コーディネーター（墨田区シルバー人材センター）1 名

（高齢者支援総合センター）各 1 名 計 8 名

(イ) 協議体の実施（平成 28 年度から）

墨田区高齢者生活支援サービスネットワーク連絡会 5 回

内容：地域の社会資源や、各地域が抱える課題等を共有し、生活支援体制整備事業における課題解決に向けた意見交換を行う。

参加者：生活支援コーディネーター・機能強化型高齢者支援総合センター（基幹型担当）・高齢者福祉課

(ウ) 主な具体的活動（所掌事務）

地域資源及び地域ニーズの把握

地域ケア会議に出席しながら、個別の高齢者の支援内容を専門職種と検討する中で抽出されてきた、地域課題を生活支援コーディネーターの視点から認識し、分析を行っている。

資源開発

大型店舗の閉店に伴い、買い物に困難を生じた高齢者に対して、地域の社会資源を結び付け、地域の中での自主的な買い物支援事業兼居場所の創出支援を行っている。

ネットワークの構築

青年会議所や大手コンビニエンスストア等、既存の高齢者を支えるネットワークには含まれていなかった主体との顔つなぎを行い、今後の事業連携につながる関係づくりを進めている。

ニーズと取組のマッチング

従来は、地域の高齢者の活動の場所として開放されていなかった、民間のスペースについて、意見交換を行いながら、利用者・提供側のニーズに応じた利用方法の調整を行っている。

また、男性向けの居場所が少ないことから、既存の喫茶店を利用した地域主体の居場所づくりを支援し、実施するにいたった。今後、一杯飲みながら男性高齢者が語り合える居場所についても地域独自の実施について、支援の方法を検討している。

イ 日常生活上の多様なニーズへの対応

目指す成果

高齢者の在宅生活を支えるための多様な事業主体による多様な生活支援サービスがあり、高齢者自身が選択できるようになっている。

事業実績

ア 火災安全システム申請件数 火災警報器 37 件【462.5%】、自動消火装置 2 件【25%】

ガス安全システム 0 件【0%】専用通報機 0 件【0%】、電磁調理器 8 件【80%】(10 月末現在)

イ 日常生活用具給付 給付件数 268 件(シルバーカー 265 件,入浴補助用具 2 件,歩行支援用具 1 件)【43.2%】

ウ 高齢者補聴器購入助成 申請件数 43 件 支出件数 37 件【37%】

エ 紙おむつの支給: 9,174 件【49.6%】 48,726,782 円

おむつ代助成: 604 件【35.5%】 3,905,987 円

オ 寝具洗濯乾燥サービス 延利用者数 106 件【40.1%】

カ 理美容サービス 申請件数 701 件 利用枚数 723 枚【41.7%】

4 ひとり暮らし高齢者等への支援と地域での支え合いの推進

見守り等の生活支援の充実

緩やかに見守り、支え合う地域づくり

高齢者の権利擁護の推進

目指す成果

ひとり暮らしの高齢者が、地域住民・見守り協力員・専門的な見守りやサービス利用を通じた見守りにより、安心して在宅生活が続けられる。

事業実績

高齢者みまもり相談室

8 か所新規相談件数 1,643 件 年度新規

継続相談件数 2,013 件

実態把握(アウトリーチ)により地域で埋もれている高齢者の発掘、支援につなげているほか、あらゆる関係機関と連携を図ることで見守りネットワークを拡充し、安否確認をはじめとした異変時の迅速な対応等が可能になっている。

高齢者見守りネットワーク事業

見守り協力員 118 人

地域みまもり活動協定 6 社

すみだ高齢者見守りネットワーク事業協力機関 7 事業所

ながら見守り活動に関する協定数 5 件

ふれあい訪問

ふれあい訪問対象者数 2,724 件

ふれあい訪問回収数 1,895 件

安否確認件数 31 件

高齢者熱中症等対策事業

猛暑避難所「涼み処(すずみどころ)」の設置 15 か所(設置期間 R1.6.1~R1.9.30)

熱中症予防普及啓発ポスター及びカードの郵送 16,389 世帯(75 歳以上の高齢者のみ世帯)

緊急通報システム

令和元年度新規申請数 87 人 廃止数 91 人

緊急通報システム利用者数 1,279 人(うち、安否確認センサ利用者数 101 件)

急病等の緊急時の迅速な対応、24 時間 365 日の相談対応が可能になり、ひとり暮らし高齢者等の在宅生活における安全・安心に資するものとなっている。センサにおいては、急病等に

限らず孤立死の早期発見にもつながっている。

高齢者福祉電話

令和元年度新規申請者数 13件 廃止数 17件

配食みまもりサービス

配食数 139,414食【46.5%】安否確認件数 116,710件（うち、利用者緊急対応 29件）

高齢者に配慮した食事の配達を通じて、利用者の安否確認を行っている。毎年一定数の緊急対応があり、利用者の安全・安心確保に寄与している。

高齢者虐待通報件数 76件 虐待認定件数 40件（11月27日現在）

成年後見区長申立件数 24件（11月27日現在）

5 医療と介護の連携強化

在宅介護・介護連携の推進

在宅療養高齢者に対する環境整備

目指す成果

医療と介護のサービスを一体的に提供できるしくみを充実させ、医療・介護ニーズを併せ持つ高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができる。

事業実績（10月末現在）

ア 墨田区在宅医療・介護連携推進協議会及び部会の開催

（ア） 第1回墨田区在宅医療・介護連携推進協議会 令和元年8月1日

（イ） 第1回認知症初期集中支援検討部会 令和元年10月11日

（ウ） 第1回多職種連携部会 令和元年8月23日

イ 医療・介護関係機関の連携推進

平成30年7月から運用している、多職種の情報共有を円滑にするための「墨田区標準様式 多職種連携情報シート」等の情報共有ツールについて、周知を図った。

ウ 在宅医療に関する人材育成や普及啓発

（ア） 医療と介護の連携研修会（第1回 令和元年10月7日、第2回、第3回を実施予定）

（イ） 多職種連携研修（テーマ「アドバンスケアプランニング（ACP）って何？」令和元年10月19日）

（ウ） 墨田区在宅療養ハンドブックを活用した普及啓発

エ 高齢者支援総合センター、在宅療養支援窓口における相談対応 等

6 認知症ケアの推進

認知症予防、早期発見・早期診断及び受診体制の充実

認知症高齢者等の介護者支援

目指す成果

認知症になっても、その人の意思が尊重され、地域で安心して生活を続けることができる体制、地域づくりを行う。

事業実績（10月末現在）

- ア 認知症ケアパスの改定、配布（令和元年10月改定）
- イ 認知症講演会の開催
- ウ 認知症アセスメントシート（DASC）の普及啓発
- エ すみだ認知症サポートかるたの活用
- オ 認知症初期集中支援チーム 支援対象者 15件（前年度からの継続ケース含む）
- カ 認知症高齢者家族介護者教室の開催 39回
- キ オレンジカフェすみだ 南部、北部各毎月1回開催
- ク 認知症サポーターの養成 807人（累計延べ20,795人）
- ケ 徘徊高齢者家族介護者安心事業 利用者18人



エ すみだ認知症サポートかるた



キ オレンジカフェすみだ

7 介護サービスの質の向上

- サービスの担い手となる人材の確保・育成
- 介護サービス提供事業者への支援
- 高齢者支援総合センターの機能強化

目指す成果

多くの介護人材が確保・育成され、サービスの担い手として活躍するとともに、質の高いサービスが安定的に供給され、介護ニーズに的確に対応できている。

事業実績

- 介護のおしごと就職面接会の実施（令和元年11月8日）
- のべ11名の就職面接（12月2日現在 採用決定者1名）
- 介護入門的研修の実施（令和元年11月13・14・19・20・21・22日）
- 受講者22名 就職希望者に令和2年3月31日まで就職相談を行う
- 区のお知らせ「介護保険特集号」（10月21日）の発行 76,000部
- 介護相談員の介護施設への訪問 178回（9月末現在）
- 介護保険事業者連絡会の開催 3回（10月末現在）
- 介護支援ボランティア・ポイント制度 登録者数169名（11月末現在）
- 福祉総合型高齢者支援総合センターの整備状況
- （1）八広はなみずき高齢者支援総合センターの開設（平成31年2月1日）

墨田区八広 5 - 1 8 - 2 3 (京成押上線高架下)

(2) ぶんか高齢者支援総合センターの開設 (令和元年 9 月 1 日)

墨田区文花 1 - 2 9 - 5 (都営文花一丁目アパート 5 号棟 1 階)

福祉総合型高齢者支援総合センターでは、高齢者支援総合センターの従来業務に加え、交流・活動機能や身体障害者手帳取得に係る案内機能を新たに追加する。

地域包括ケア会議の充実

(1) 区レベルの地域包括ケア会議の開催 (平成 31 年 1 月 31 日)

(2) 高齢者支援総合センターにおける地域包括ケア会議の開催

地域ケア推進会議 (地域課題) 18 回 (10 月末現在)

地域ケア個別会議 (個別課題) 32 回 (10 月末現在)

8 自分に合った施設、住まいの選択

住宅施策と福祉施策の連携

身体状況の変化に対応した住まい方の普及

介護保険施設等の整備

目指す成果

高齢者自身が、サービスを利用していない段階から、将来を見据えニーズに合った住宅の改修や住まい方を考え、その後は、高齢者自身が望む、加齢による身体の衰え等に対応した住まい方ができる。

事業実績

特別養護老人ホームの整備 9 施設 778 床整備済み

新規 1 施設分について、竣工に向けて準備中

地域密着型サービスの整備 小規模多機能型居宅介護 1 件整備済 (計画数 1)

認知症高齢者グループホーム 1 件整備中、1 施設公募中
(計画数 2)

都市型軽費老人ホームの整備 6 棟 120 床 整備済み

都市型軽費老人ホーム (1 棟 20 床 令和 2 年 2 月開設予定)



都市型軽費老人ホーム

地蔵坂ホームズ

住所：東向島 1 - 1 7 - 6

区内都市型軽費老人ホーム 稼働率 (入所者/全床数)						
年度	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年 9 月末
施設数	3	4	5	6	6	6
稼働率 (%)	98.3	96.3	92.0	97.5	97.5	98.3